



CANジャーナル

2025
令和7年
5月号

学校法人 中村学園
専門学校 静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

就採用活動・就職活動の「常識」が変化。どう対応、いや生かす？

進路室長 橋野 幸男

株式会社リクルート「就職みらい研究所」が公表したレポートを見ていきましょう。

① 『就職白書 2025 ～2025 年卒の就職・採用活動の振り返りと、2026 年卒の採用見通しを調査～』（プレスリリース版：2 月 20 日、冊子版〔全体版〕：4 月 11 日）

② 『データから見る近年の新卒採用・就職活動の変化』（3 月 21 日）

まず、①から、採用側のデータをいくつか紹介します。

■ 2025 年 3 月卒の採用充足状況：「採用予定数を充足できた」企業割合は 37.2 %。前年（2024 年 3 月卒：36.1 %）から微増したものの、中小企業を中心に採用難は継続。
■ 採用予定数を 100」とした場合の「内定出し人数」「内定辞退人数」「内定人数」：下表のとおり、最終的な「内定人数」は前年より増加。しかし、「内定出し」よりも手前の「選考応募者の確保」、いわゆる「母集団形成」の段階から苦戦、また、「内定辞退」「選考辞退」が予想より多いという状況は変わらず（データは省略）。

	内定出し人数	内定辞退人数	内定人数
2025 年卒 企業全体	169.4	83.5	87.7
充足企業 平均	182.1	86.2	101.4
未充足企業 平均	160.8	81.8	78.3
2024 年卒 企業全体	156.6	74.3	80.7

● 2026 年 3 月卒の採用予定数：平均 31.9 人で、前年（2025 年 3 月卒）の 30.3 人から微増。引き続き高い採用意欲を維持している。
● 採用活動の各プロセスに関し、開始時期を「卒業年次前年 2 月までに開始」とする企業割合：次表のとおり、「一層の早期化」が見込まれる。

	面接（対面）	面接（Web）	内々定・内定出し
2026 年卒	51.2 %	61.8 %	43.3 %
前年比	+11.6 p	+11.0 p	+13.1 p

なお、「5 月までに開始」では、「内々定・内定出し」は 85.9 %（同+4.7p）。

②は、リクルートの各種調査データを用いた分析です。「少子化による若年層の人手不足や、企業の採用ニーズの多様化が進む中、学生と企業の双方が従来の手法からの転換を模索している」と指摘しています。要点だけ紹介します。

・ インターンシップは、「業界理解のための機会」から「採用活動を行うにあたっての重要なプロセス」へと変化（例えば、「採用直結型」インターンシップの解禁など）。企業は、早期に優秀な学生と接点を持ち、かつ、選考につなげようとしている。学生も、採用を意識して参加している。
・ 企業は新しい採用手法として「スカウト型（逆求人型）」を活用し、母集団形成の強化や、個々の学生のスキルや経験に基づいたアプローチに注力している（※ スカウ

ト型：就活生がサイトに登録し、「学生時代に頑張ったこと（ガクチカ）」や「自己 PR」を入力。そのプロフィールを見た企業が就活生にスカウトを送る、というサービス）。
・ また、「入社後のミスマッチ」を防ぐため、企業が新入社員の「初任配属を内定承諾前に確約」する動きも広がっている。

『労働供給制約社会』の到来に伴う「人材獲得競争の激化」、若年者における『キャリア安全性』重視の高まり」などにより、このところ、採用活動・就職活動の「常識」が著しく変化しています。例えば、「日本経済新聞」4 月 7 日（朝刊）の記事『脱“新卒一律”で 即戦力採用』では、「新卒・中途区別せず 通年で採用」「学歴による待遇差を見直す」「高卒・高専卒を総合職に」などの事例を紹介しています。また「静岡新聞」でも、地元企業に関する類似の報道を散見します。
皆さん、こうした変化を踏まえ、それにたじろぐのではなく、逆に「チャンスとして生かす」という意識で活動を行ってください。



令和7年度 新入生御殿場宿泊研修

令和7年4月14日(月)～ 4月17日(木)

充実した学校生活をみんなで送りましょう

1 年学年部主任 石田 麗

令和 7 年 4 月 1 4 日より 2 泊 3 日の日程で、新入学生を対象とした御殿場宿泊研修を実施いたしました。「よりよい就職をするためには」を主題とし、学生としての基本的な心構えを身につけることを軸に据え、今後の学校生活の在り方について自ら思索し、主体的に決定し、能動的に行動する力を養うことを目的といたしました。アクティブラーニング形式による取り組みを通じて、学生一人ひとりが自己の行動指針を見通し、将来を見据えた具体的な目標設定に努めるとともに、心の支えとなる友人関係の構築を図る貴重な機会となりました。

箱根におけるオリエンテーリングでは、豊かな自然環境の中で協調性や判断力を育むことができ、また、グループワークにおいては、他者と意見を交わし合う中で多様な価値観に触れ、相互理解を深める姿が見受けられました。レクリエーションの時間には、緊張が和らぎ、笑顔と歓声が広がる中で、友情が一層深まる様子が印象的でした。「自分のこだわりを持つことの重要性」について校長先生からのご訓話を賜り、今回の研修を通して自身の価値観や信念を見出し、それを磨いていく姿勢の大切さを改めて認識する機会となりました。

今後の学校生活においては、それぞれが自らの「こだわり」を追求し、確固たる自分を形成していくことが期待されます。

1 年生の皆さん、校長先生をはじめ先生方から教えていただいたことを胸に、本研修を通して得た学びや気づきを糧とし、自分の目標に向かって進み続け、更なる成長をしていくことを心より願っております。

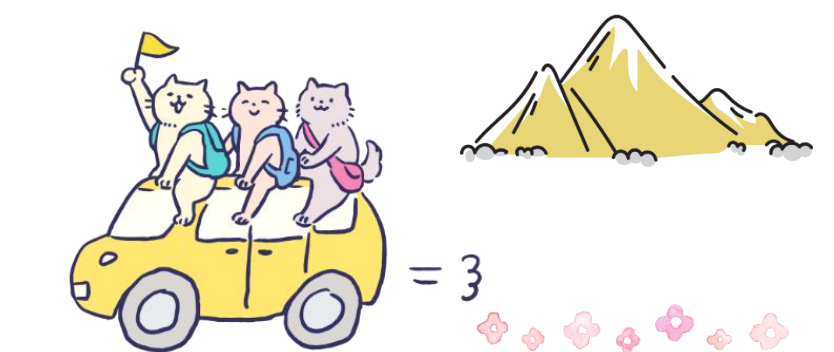


人間力に磨きをつける！！

総合福祉学科 森 和香菜

私は今回の御殿場宿泊研修を通して、挨拶の大切さと自分の将来像を明確にする必要性を学びました。礼法・ビジネスマナーの中で、良い印象を持ってもらうためにも笑顔や明るさが大切だと知りました。しかし私は、挨拶の声が小さかったり、自分から挨拶をしたりすることがなかなかできません。そのため、自分から積極的に明るく、笑顔で挨拶することを心がけたいです。また、なりたい自分になるためには将来像を明確にする必要があると学びました。そのためには、具体的な目標を立て、自己実現を図ることが大切であると気が付きました。このようなことを踏まえ、学校での生活や学び、学外でのフィールドスタディに積極的に参加し、自分にしかない「こだわり」を見つけ、具体的な将来像を見つけていきたいです。

今回の研修では、積極的に行動したり、アイディアを出したりすることができませんでした。今後は、多くの活動を通して専門的な知識・技術だけでなく、行動力や柔軟力を身につけていき、人間性を高め、人間力に磨きをかけていきたいです



今後の学校生活をどう過ごしていくか

介護福祉学科 佐野 菜々

私は将来、介護福祉士として多くの人を支えて笑顔にできるよう、これからの学生生活を有意義に過ごしていきたいと考えています。

授業では専門的な知識や技術が身に着くよう復習を行い、実習では積極的に学ぶ姿勢を大切にし、現場で役立つ力を育てていきます。また対人援助職として人との関わりが大切になるため、授業や実習だけでなく、クラスメイトとのコミュニケーションや協力を通じて、互いに励まし合い、助け合いながら人間関係の築き方も学びたいと思っています。さらに、自己成長するために、フィールドワークにも積極的に参加し、各コミュニティとの関係性も大切にしたいと考えております。わからないことや苦しいことにも真剣に向き合い、自分を成長させるチャンスと捉えて努力を続けます。

こうした取り組みを計画的に継続することで、専門的スキルを習得し、誰にでも頼られる介護福祉士を目指していきます。



CANジャーナル

2025
令和7年
5月号

学校法人 中村学園
専門学校 静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

周りへの感謝の気持ちを忘れない

子ども心理学科 植田彩音

三日間の御殿場研修を終えて、私がこれから頑張ると決意したことが三つあります。一つ目は、コミュニケーションを大切にすることです。挨拶が習慣づいていたり、人の話を聞いたときに相槌をうったり、相手が幸せな気持ちになるような行いをしていきたいです。

二つ目は思いやりの心です。私たちの学科は人数がとても少ないので一人ひとりが思いやりの心をもって生活することが大切です。誰かが困っている時、つらい時にはみんなで寄り添い乗り越えていけるような関係を築いていきたいです。

三つ目は色々なことにチャレンジすることです。失敗を恐れず、たくさんのことに挑戦できたら保育者になった時、子どもたちの夢や目標、挑戦を全力で後押しできると思っていたからです。

周りへの感謝の気持ちを忘れずに、仲間と助け合いながら充実した三年間を送りたいです。

日々の習慣づけの大切さ

視能訓練士学科 望月 大里朱

私は今回の御殿場研修を通して、よりよい就職をするために自分たちがどのような学校生活を送るべきか考えることが出来ました。

まず挨拶などの基本的な礼儀やマナーを意識し、普段の学校生活で先生方や先輩方とすれ違ったときなど、必ず挨拶をするよう心掛けたいです。総合病院やクリニックに実習に行かせて頂く際は視能訓練士の方だけでなく患者様や他職種の方々に自然と挨拶ができるようになるために日々の習慣づけが重要と考えました。その他にも身だしなみを整えることやコミュニケーション能力の向上も大切にしていきたいです。清潔感や笑顔、分かりやすい説明を身に付けることで患者様から信頼される視能訓練士になれると思いました。

これらのことに加えて講義の復習を日々怠らずに知識を身に付けることで、よりよい就職が出来るような視能訓練士を目標に三年間頑張ります。



御殿場宿泊研修を通して学んだこと

IT ゲーム&ロボットシステム学科 佐野涼成

今回の御殿場宿泊研修を通して、より良い就職を実現するためには、習慣の確立、社会性の向上、そしてコミュニケーション能力の強化が重要であると強く感じました。

① 習慣について

日々の生活を規則正しく習慣化することの大切さを学びました。例えば、就寝・起床時間の管理や、学習の習慣、日常の挨拶などを意識的に繰り返すことで、自分自身の成長に繋がると感じました。この積み重ねが、将来的により良い就職へとつながると信じています。

② 社会性について

社会で信頼される人材となるためには、礼儀やマナー、モラル、そして一般常識を身につけることが不可欠だと学びました。こうした社会性を養うことが、自分の価値を高めるだけでなく、他者との信頼関係の構築にも繋がると考えています。

③ コミュニケーション能力について

相手の話を「聞く力」と、自分の思いを「伝える力」の両方をバランスよく身につけることが、円滑な人間関係の基盤になると実感しました。コミュニケーションの質が高まることで、仕事におけるチームワークや信頼関係も良い方向に変化すると思います。この2年間の学校生活では、専門的な知識や技術を学ぶと同時に、上記の3つの力を意識して日々の行動に取り入れ、社会に出る準備を整えていきたいと決意しています。

宿泊研修で学んだ3つの大切なこと

音響&映像メディアクリエイイト学科 望月萩羽

私はこれから多くのことを学び身につけていく中で特に大切だと考えることを決意し、実行します。

一つめは挨拶です。挨拶は人と人をつなげる大切な第一歩です。だからこそ、挨拶からこだわり、挨拶で相手に良い印象をもってもらえるようにします。

二つめは挑戦を続けることです。それは、成長スピードを上げられ、常に向上心を持って行動できるからです。また、もし挑戦をして失敗してしまった場合は、なぜ失敗してしまったか原因を追究して改善します。

三つめは明確な目標を持つことです。それは、目標がなければどこに進んでよいかわからず中途半端になってしまうためです。以上のことを決意し、これからの学校生活やフィールドスタディ等で実行していきます。

広報室より



企画広報室 深澤 満奈美

新年度を迎え、校内には新たな活気が感じられます。新入生の皆さんも少しずつ学校生活に慣れ、元氣なあいさつや前向きな姿勢が随所に見られるようになりました。

企画広報室では、オープンキャンパスの企画運営や出身高校への訪問、SNSや広報誌を通じた情報発信など、年間を通じて本校の魅力を幅広く伝える取り組みを行っています。今年4月には本校のホームページを全面的にリニューアルし、情報の探しさや視認性を高めた「ユーザーインターフェース (UI)」に優れたデザインへと刷新いたしました。特にスマートフォンからの閲覧にも対応し、より多くの方に快適にご覧いただける仕様となっております。

AIやIoTなど先端技術が日々進化を遂げる今、専門知識と柔軟な発想を兼ね備えた人材が求められています。在校生の皆さん一人ひとりがその担い手となることを願い、共に中村学園をさらに発展させてまいりましょう。



5月の行事

- 1日(木) E卒業生を囲む会
- 2日(金) 春季スポーツ大会(安倍川河川敷)
- 3日(土) 憲法記念日
- 4日(日) みどりの日
- 5日(月) こどもの日
- 6日(火) 振替休日
- 8日(木) 2IT 面接指導 オープンキャンパス17時～
- 10日(土) 後援会総会
- 13日(火) 3CP教育実習事前研修 ～15日(木)
- 15日(木) 2VS 面接指導
- 16日(木) 春季スポーツ大会(予備日)
- 17日(土) オープンキャンパス13:15～
- 19日(月) 2CP(保育実習I(保育所)事前研修 ～21日(水)
- 27日(火) 創立記念日 カーペット・ガラス定期清掃
- 29日(木) ORT卒業生を囲む会
J検・B検CBT16:30～



*** オープンキャンパス ***

◇5月8日(木) ◇5月17日(土) ◇6月14日(土)

◇6月26日(木) ◇7月5日(土)



夏休み Special オープンキャンパス



7月26日(土) 8月9日(土) 8月23日(土)

※開催時間 平日 17:00～18:45/土曜日 13:15～15:30